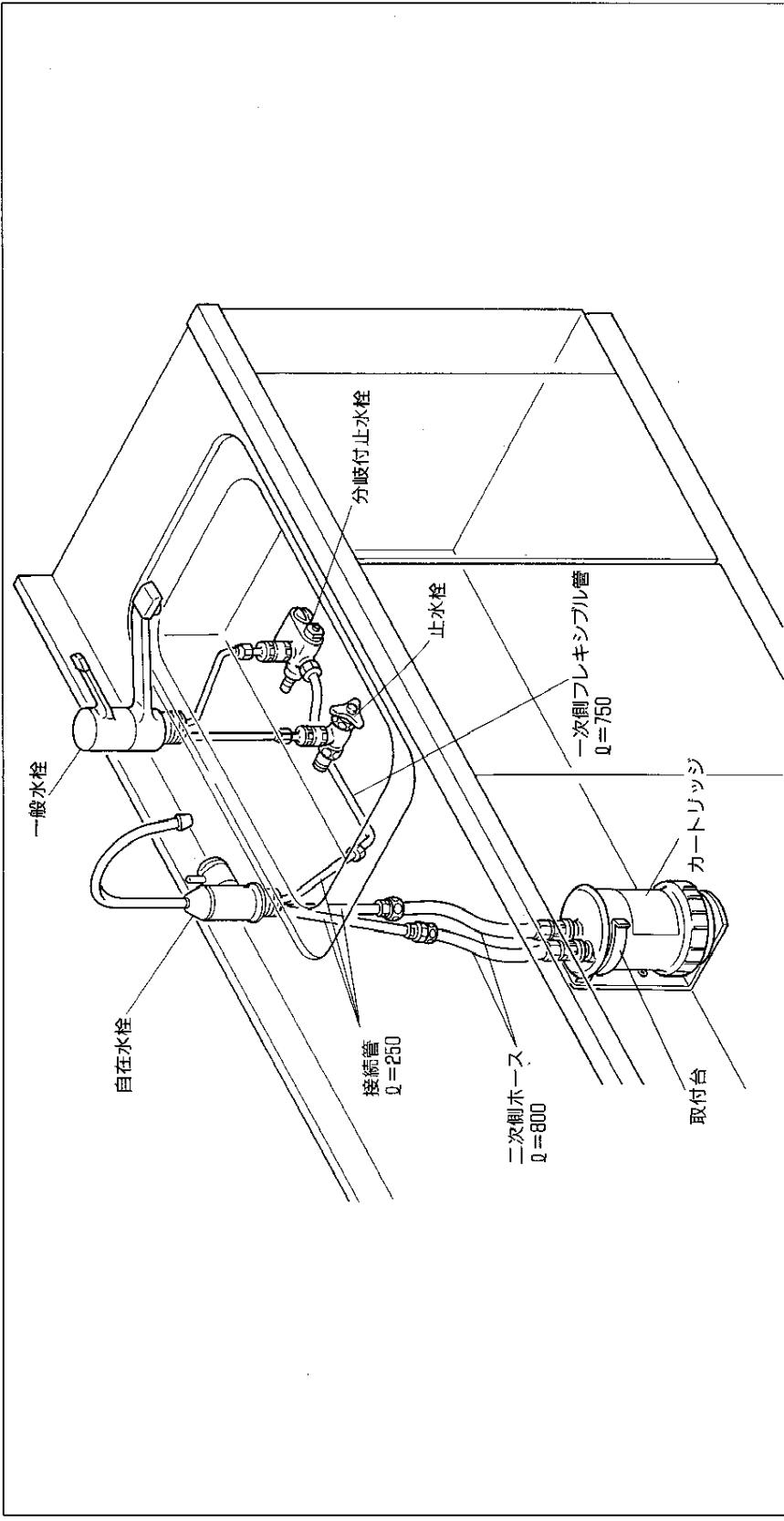


台付き自在水栓(清水器用)取付説明書

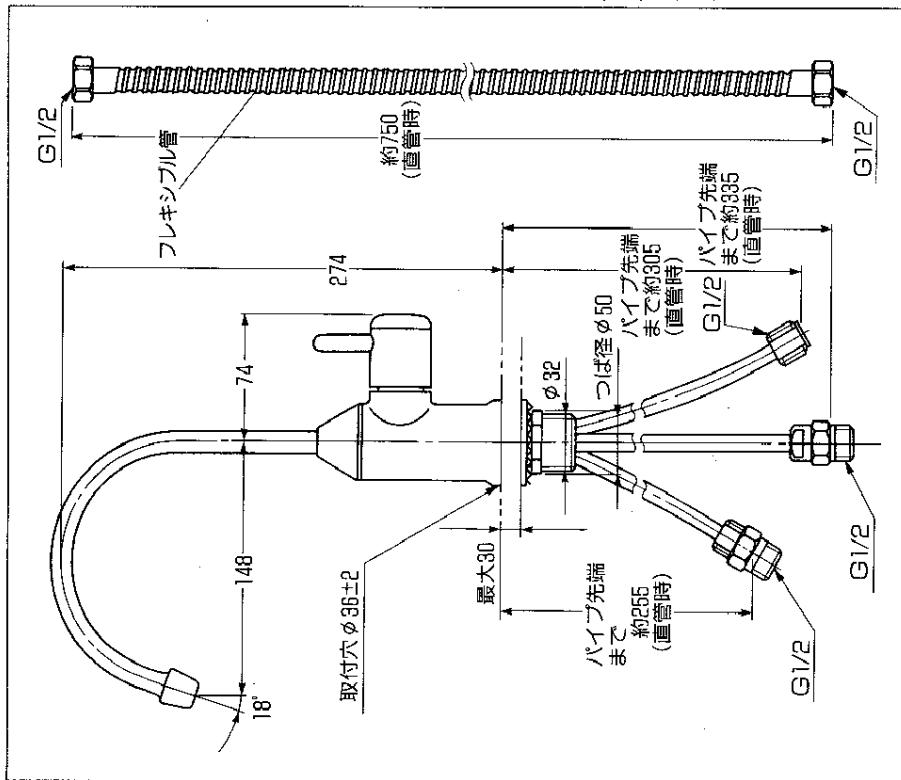
完成図

TK301A+TK300BN



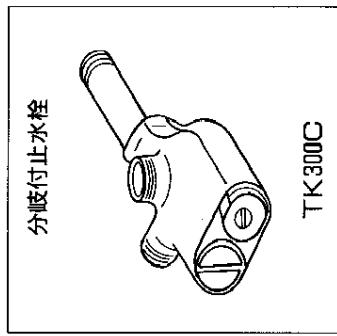
寸法図

TK301A



使用条件

1. 本製品はTOTO清水器クリンスイU（品番：TK300BN）に組合せる専用の自在水栓です。
2. TK301Aの取付けに当つては止水栓が必要です。
一般水栓の水側止水栓と兼用で使用する場合は、右図の分岐付止水栓をご利用ください。



3. 凍結のおそれのある場所には設置しないでください。（清水器は、寒地用ではありません）
4. 自在水栓の使用圧力は0.7～7.5kgf/cm²です。
5. 清水器は給水用です。カートリッジが高熱で破損する原因になりますので、給湯配管には絶対に接続しないでください。（35°C以上の温水を通さないでください）。

器具の取付け

1. 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い出してください。
※洗い出しが不十分な場合、清水器のカートリッジが早く目詰ります。
2. 自在水栓取付場所の選定
 - 自在水栓の操作に支障のない場所にしてください。
 - 付属部品のフレキシブル管が、給水管に接続可能な場所にしてください。
 - 自在水栓本体を十分に支えられる強度のある場所にしてください。

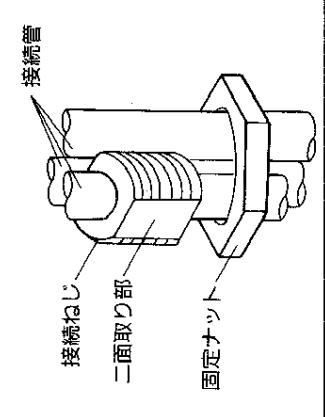
3. 自在水栓の取付け

(1) 取付位置の確認をして、穴あけ（穴径は、直徑36±2mm）をしてください。

(2) 自在水栓の接続管を傷つけないように注意して、穴あけ位置に差込してください。

(3) 自在水栓固定ナットを組付けてください。

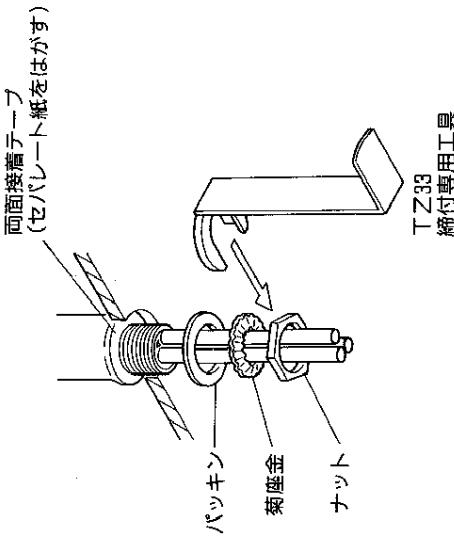
(4) 固定ナットを組付ける時は、図のように接続ねじの面取り部に他の日本の接続管を合わせて、組付けてください。



(5) 自在水栓が正面を向くように固定ナットを締付けてください。

(6) 水栓本体を固定するときは、取付穴周囲の汚れをとり、セパレート紙をはがしてください。また固定には別売のナット締付専用工具（丁子33）を利用して確実に締付けてください。

(7) 逆止弁付ソケットを「給水」のラベルが張付けてある接続管に取付けてください。このとき、パッキンは必ず入れてください。



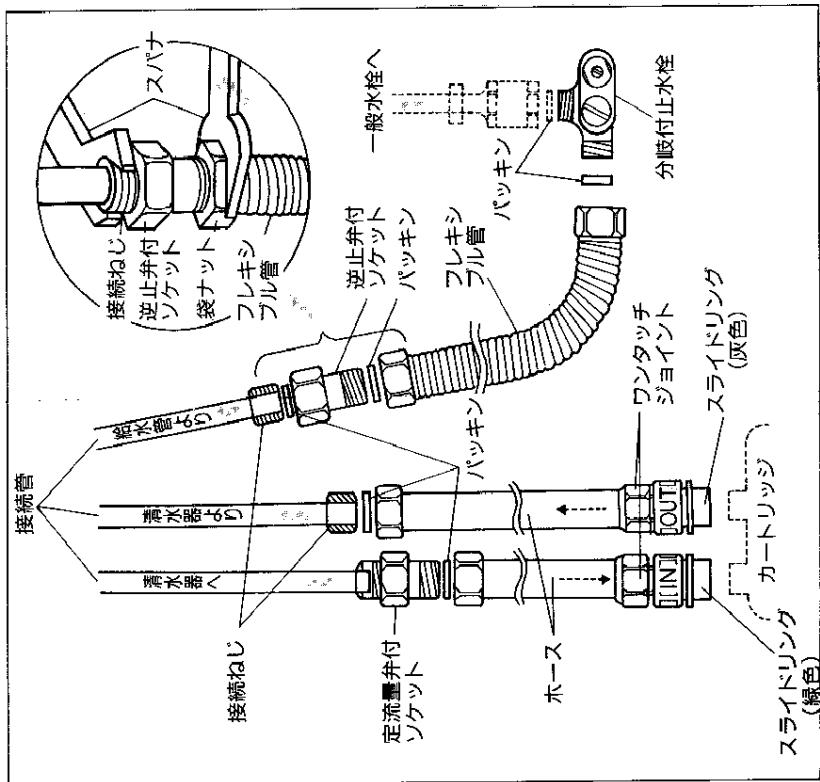
4. 配管接続

既設の一般水栓の水側を取付け外し分岐付止水栓を取付けください。

● フレキシブル管を止水栓に取付け、片方を自在水栓の逆止弁付ソケットに取付けてください。逆止弁付ソケットはあらかじめ自在水栓の接続ねじにねじ込んでください。

※ 袋ナットを取付けるときは、スパナを日本使い接続ねじを片方のスパナで十分に支えて締付けてください。

● 日本のホースをそれぞれ、自在水栓の接続ねじ、定流量弁付ソケットにねじ込んでください。
※ 自在水栓接続部のラベルとホースの矢印の向きを同方向になるよう確認して、正しく接続してください。



5. 清水器の取付け

(1) 清水器取付場所の選定

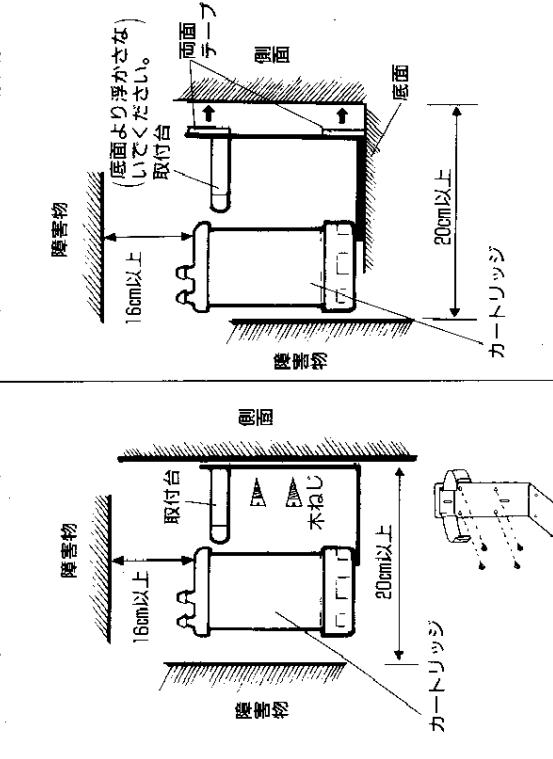
- 自在水栓の下部（流し台下）で、既設の配管にぶつからない場所。
- 自在水栓から付属のホースで、接続可能な場所。
- 木ねじや面面テープで、取付台およびカートリッジ本体を十分に支えられる場所。

(2) 取付台の取付け方

- 流し台のキャビネット部が木製の場合、付属の木ねじ（4本）で固定してください。（木部が薄い場合には心材のあるところに固定してください。図1）
- ステンレス、ホーロー流し台など、ねじ止めが不可能な場合は面テープ止めをします。接着面の油分、水分、ほこりをよく除去し、取付台を流し台の底面にあわせ、側面に強くおさえて固定してください。（図2）

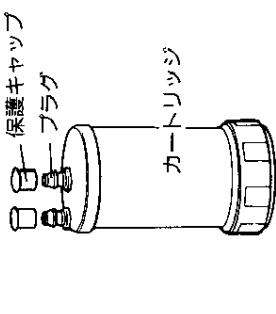
図1 〈ねじ止めの場合〉

図2 〈面面テープ止めの場合〉

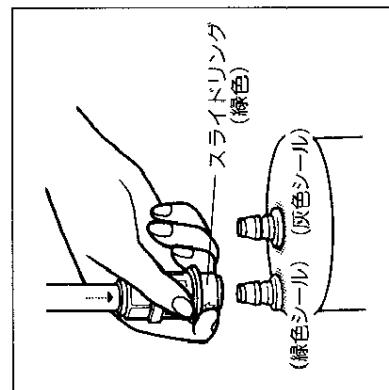


6. カートリッジの取付け

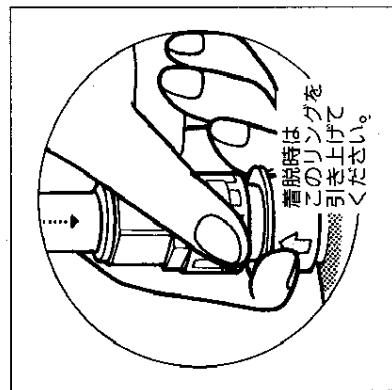
(1) カートリッジのプラグの先端の保護キャップをはずします。



- (2) カートリッジのシールとスライドリングとの色を確実に合わせて接続してください。
※スライドリングを上に引き上げたままワンタッチ・ジョイントを垂直に、プラグに合わせてしっかりと押込みます。いちばん奥まで差込まれているか確認してください。

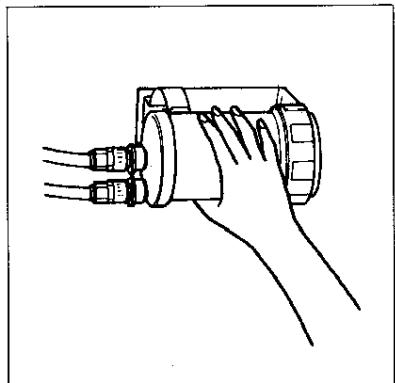


- (3) 止水栓、レバーハンドルを開けカートリッジに通水し、接続部からの水漏れがないことを確認してください。
(4) 通水させながらカートリッジを持ち上げ逆さまにして十分カートリッジ内の空気を抜いてください。空気があると切れがわるくなることがあります。



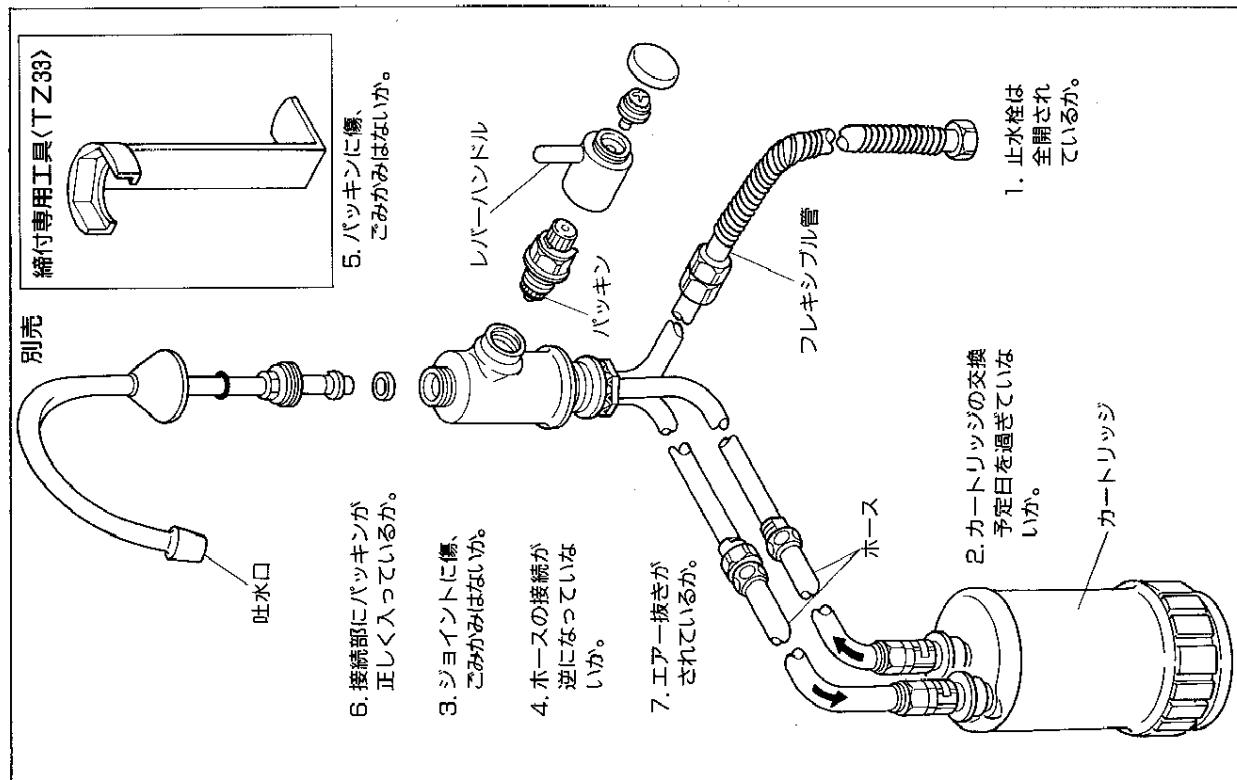
(5) 取付台にカートリッジを固定する際は、ホースが折れ曲がったり、ねじれたりしないようにしてください。
※ ホースがじやまになる場合は結束バンドで固定してください。ただし、バンドを締めすぎると、吐水量が少なくなりますので注意してください。
※ ホースが給湯パイプに触れないようにしてください。

(熱で破損する原因になります。)



注意

清水器カートリッジは雑菌等が入らないよう、密閉組立しておりますので絶対に分解しないでください。



お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

- ふだんは柔らかな布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませたたぶくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
- 酸性洗剤はめつきを食しますので、使用しないこと。もし、タイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分に水洗いすること。

分解と点検

取付後、万一故障した場合の分解と点検は、次の要領で行ってください。

現象	点検項目
吐水量が少ない。	1、2、4
水が止まらない。	5
接続部から漏水する。	3、6
水がれが悪い。	2、7

- 止水栓は全開されているか。
- カートリッジの交換予定期日を過ぎていなければ。